

# 福島経済マンスリー

3月の県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響から、全体では引き続き厳しい状況にある。

## 1. 2022年3月の県内経済

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるが、新型コロナウイルス感染症の影響から、全体では引き続き厳しい状況にある。なお、足元では円安やウクライナ情勢の悪化を背景とした原材料等の物価高騰による影響が強まっているものとみられる。		
消費動向	乗用車販売台数が半導体不足と新型コロナウイルス感染症による減産などから前年を下回ったのに加え、コンビニエンスストア販売額も前年割れた。一方、大型小売店およびドラッグストア販売額は引き続き前年を上回った。		
公共投資	公共投資は、中間貯蔵施設関連の復興工事が一段落し、前年比で減少したことなどから、請負金額が12カ月連続で前年を下回っている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、製造業で前年に見送られた設備投資が実施されたことなどから、棟数、床面積、工事費予定額がいずれも前年実績を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年の水準が低かったことなどから、前年を上回った。内訳をみると、持家が前年を下回ったものの、貸家と分譲は前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整値が84.3で前月比△2.5%、原数値が81.1で前年比+4.4%となった。業種別の季節調整値を前月比でみると、「汎用・生産用・業務用機械工業」など7業種で上昇したものの、「繊維工業」など12業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が1.38倍と前月を0.03ポイント下回ったが、新規求人倍率は、季節調整値が2.11倍と前月を0.17ポイント上回った。雇用保険受給者実人員は前年比△3.5%となった。		

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は2月データ。

〈天気図（水準）の意味〉				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
← 良 い			悪 い →	

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2021年10月	11 月	12 月	2022年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	2.4	0.5	0.6	1.6	1.7	1.7
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 1.9	△ 2.5	△ 0.1	1.0	△ 2.9	△ 0.7
	ドラッグストア販売額（全店舗）	6.0	4.3	5.3	4.2	7.9	2.9
	乗用車販売台数	△ 18.5	△ 5.8	△ 8.2	△ 9.0	△ 12.8	△ 15.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 73.1	△ 69.5	△ 36.8	△ 77.6	△ 76.6	△ 61.7
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 7.9	△ 26.5	11.5	93.2	△ 13.4	202.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	2.6	0.9	1.1	41.3	△ 19.5	26.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.5	3.8	2.0	△ 2.0	4.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.13	0.13	0.17	0.18	0.17	0.13
	雇用保険受給者実人員	△ 19.2	△ 14.0	△ 11.1	△ 5.5	△ 3.4	△ 3.5

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2021年10月	11 月	12 月	2022年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	3.2	△ 1.8	27.4	△ 17.2	△ 9.1	9.6
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 1.8	△ 2.9	9.7	△ 8.4	△ 8.4	12.6
	ドラッグストア販売額（全店舗）	△ 4.1	△ 0.2	2.7	1.7	△ 3.5	△ 2.6
	乗用車販売台数	△ 2.5	5.0	△ 6.0	△ 5.8	9.9	62.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 19.6	△ 25.3	△ 23.9	△ 29.7	△ 25.2	277.3
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	7.0	△ 34.5	184.1	31.2	△ 57.1	117.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	18.5	△ 14.2	8.7	△ 4.1	△ 13.6	14.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.1	3.1	△ 2.9	△ 1.3	△ 2.5	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.02	0.02	0.04	0.03	0.03	△ 0.03
	雇用保険受給者実人員	△ 5.4	△ 5.6	1.1	△ 2.3	△ 6.0	2.9

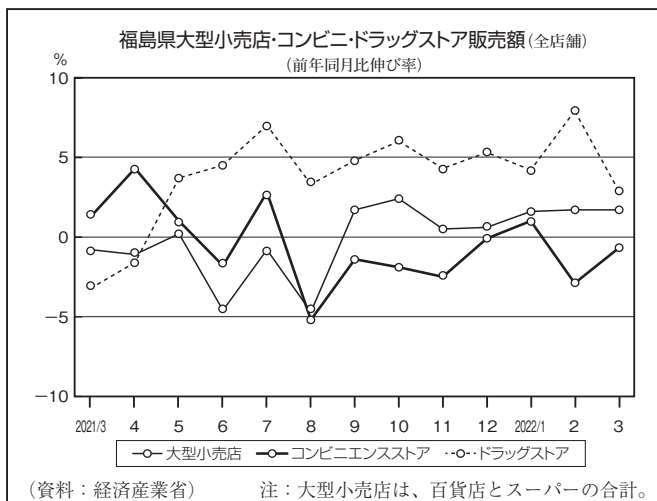
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

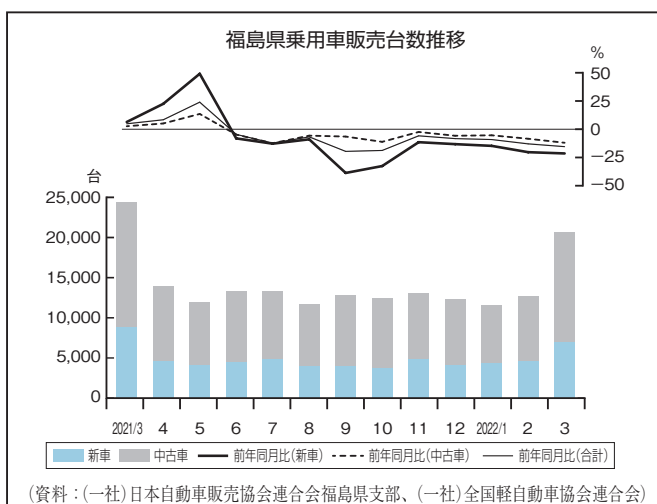
#### 大型小売店およびドラッグストアが前年比増、コンビニが前年比減

3月の県内大型小売店の販売額は234億30百万円（前年同月比+1.7%）と7カ月連続、ドラッグストア販売額は88億39万円（同+2.9%）と11カ月連続でそれぞれ前年を上回った。一方、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は168億80百万円（同△0.7%）と2カ月連続で前年を下回った。なお、大型小売店、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は491億49百万円（同+1.1%）と前年を上回った。



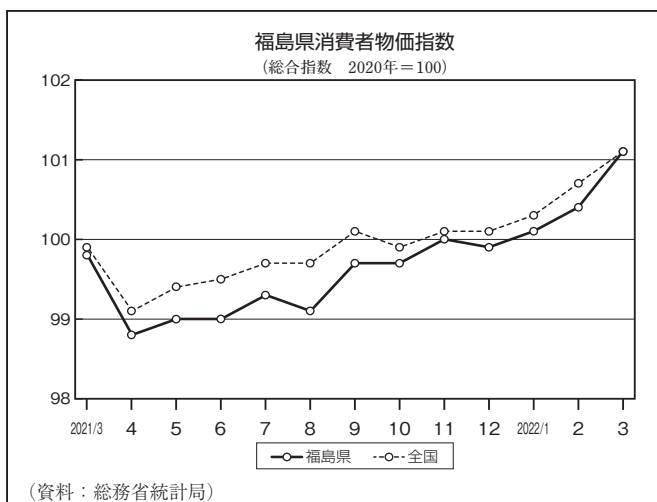
#### 乗用車販売：10カ月連続で前年比減

3月の乗用車販売台数をみると、新車が6,967台（前年同月比△21.1%）、中古車が13,665台（同△11.8%）、合計が20,632台（同△15.2%）となり、いずれも10カ月連続で前年を下回った。新車の前年割れは、半導体不足に加え、新型コロナウイルス感染症により東南アジアからの部品供給が遅れていることによる減産が続いているためとみられる。



#### 消費者物価指数：前月比、前年比とも上昇

3月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が101.1で前月比+0.7%、前年同月比+1.3%。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の113.7（前月比+2.1%）など8費目で上昇、下降した費目なし。

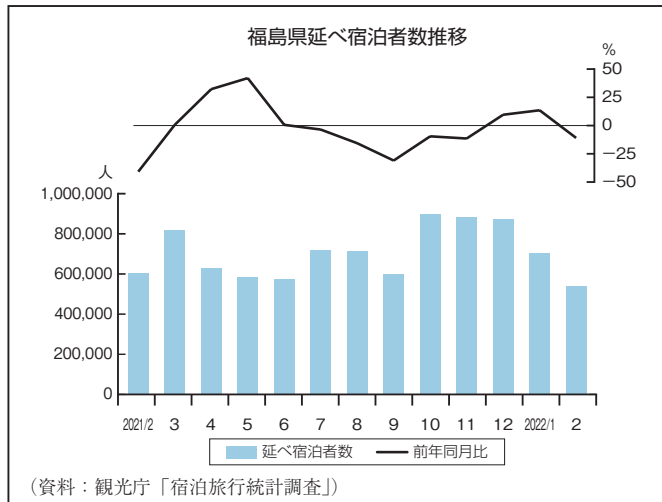


**観光**

※延べ宿泊者数は2月データ

**延べ宿泊者数：3カ月ぶりに前年比減**

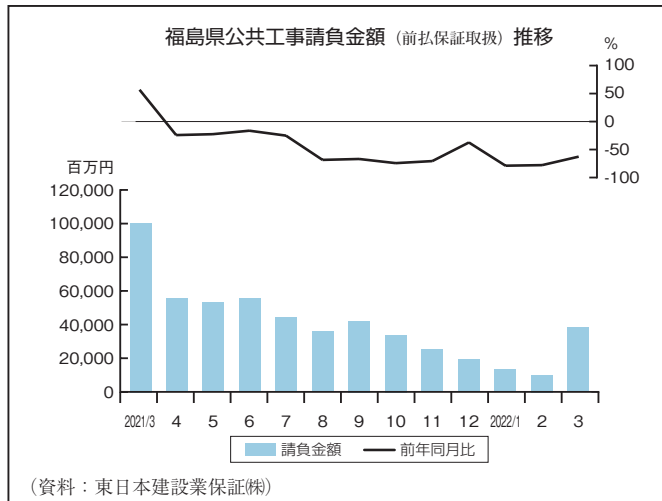
2月の延べ宿泊者数は、540,560人（前年同月比△10.8%）と、まん延防止等重点措置による影響などから、3カ月ぶりに前年を下回った。



**公共投資**

**公共工事：請負金額は12カ月連続で前年比減**

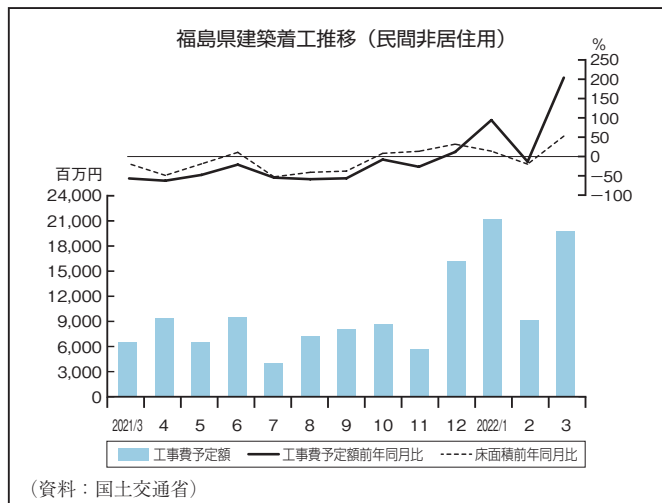
3月の公共工事前払保証取扱は、件数が487件（前年同月比+18.8%）、請負金額が386億80百万円（同△61.7%）、保証金額が167億87百万円（同△66.2%）。公共投資は、中間貯蔵施設関連の復興工事が一段落し、前年を下回ったことなどから、請負金額が前年比で減少している。



**設備投資**

**設備投資：工事費予定額は前年比増**

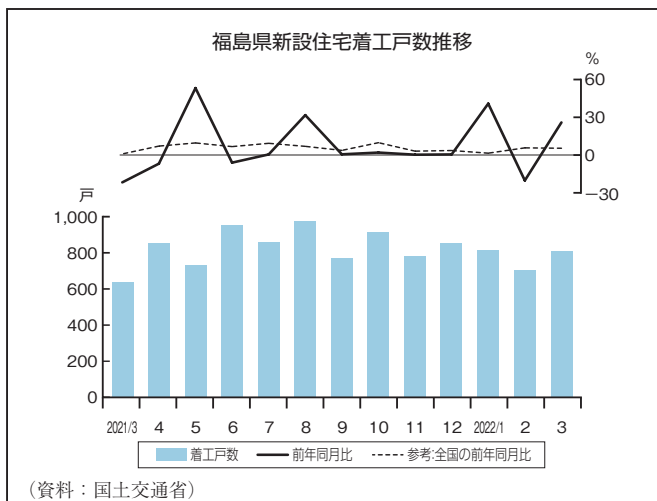
3月の建築着工（民間・非居住用）は、製造業で前年に見送られた設備投資が実施されたことなどから、棟数が137棟（前年同月比+9.6%）、床面積が100,941㎡（同+52.1%）、工事費予定額が197億92百万円（同+202.0%）とそれぞれ前年を上回った。



## 住宅投資

### 住宅建設：着工戸数は前年比増

3月の県内新設住宅着工戸数は809戸（前年同月比+26.4%）と、新型コロナウイルス感染症の影響により前年の水準が低かったことなどから、前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が358戸（同△7.3%）と前年を下回ったものの、「貸家」が205戸（同+47.5%）、「分譲」が138戸（同+24.3%）と前年を上回った。

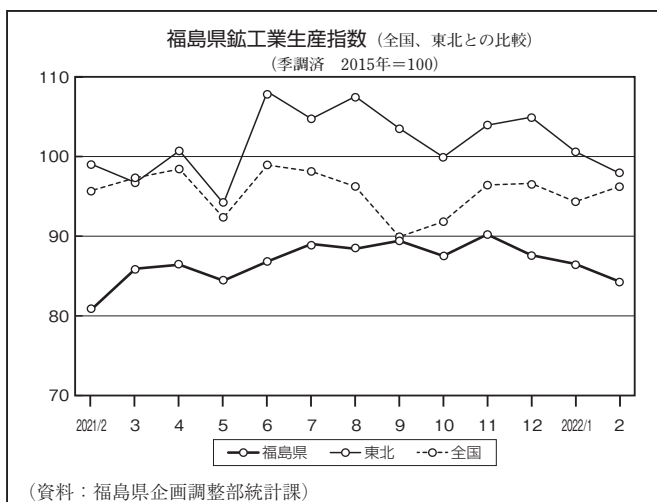


## 生産活動

※鉱工業生産指数は2月データ

### 鉱工業生産指数：前月比が下降、前年比が上昇

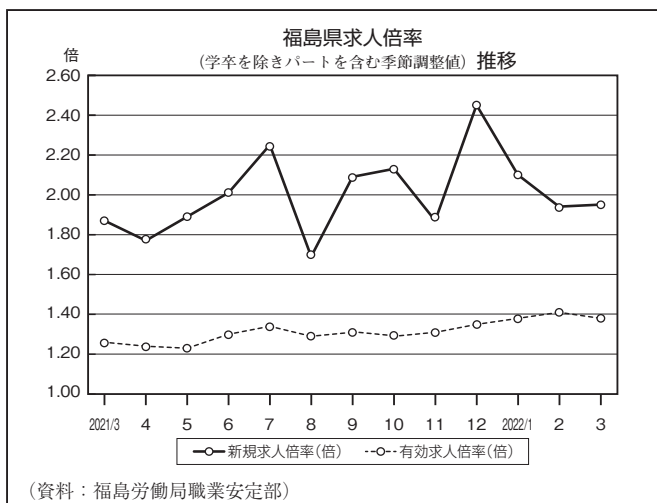
2月の鉱工業生産指数は、季節調整値が84.3（前月比△2.5%）、原数値が81.1（前年同月比+4.4%）。業種別の季節調整値をみると、「汎用・生産用・業務用機械工業」（前月比+12.3%）など7業種で上昇したものの、「繊維工業」（同△19.0%）など12業種で下降した。



## 雇用動向

### 雇用動向：有効求人倍率は前月比下降、前年比上昇

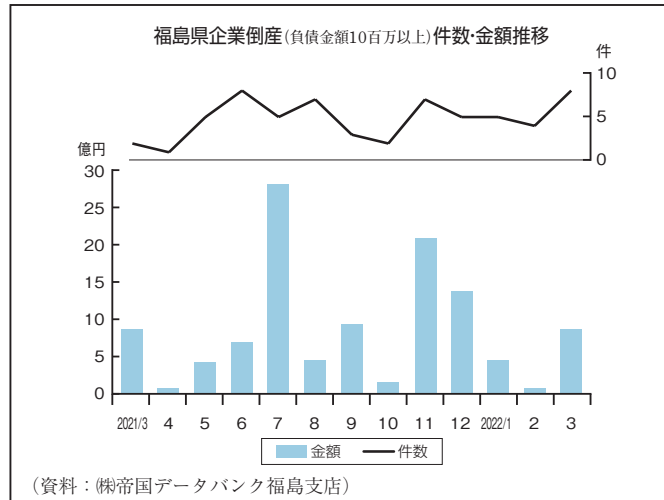
3月の新規求人倍率は、季節調整値が2.11倍（前月比+0.17ポイント）、原数値が1.95倍（前年同月比+0.28ポイント）、有効求人倍率は、季節調整値が1.38倍（前月比△0.03ポイント）、原数値が1.37倍（前年同月比+0.13ポイント）。3月の雇用保険受給者実人員は5,843人（前年同月比△3.5%）。



企業倒産

企業倒産：件数、負債総額とも前年比増

3月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が8件（前年同月比+300.0%）、負債総額が8億63百万円（同+0.3%）。業種別で見ると、建設業が4件、製造業が2件、小売業、不動産業が各1件。主因別で見ると、販売不振が8件。

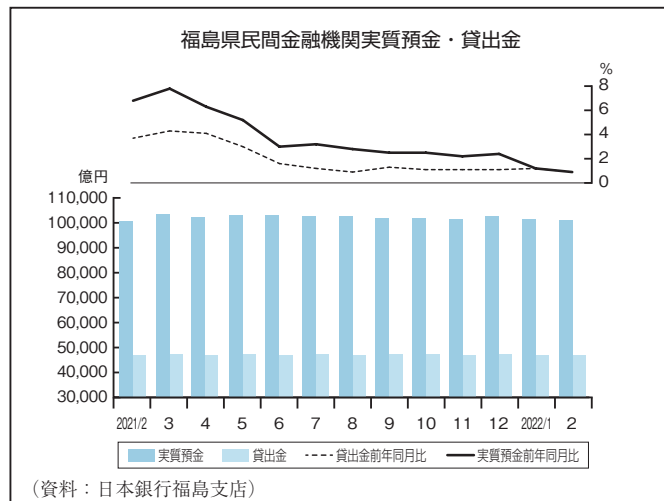


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の2月末の実質預金残高は、10兆1,395億円（前年同月比+0.9%）と2年9カ月連続で前年比増加。また、貸出金残高は、4兆7,017億円（同+0.9%）と8年9カ月連続で前年比増加。（3月データは、本稿執筆時点で未公表のため、2月データを掲載）

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

3月の保証承諾は、件数が1,078件（前年同月比△69.8%）、保証金額が185億80百万円（同△74.2%）。3月末日現在の保証債務残高は、件数42,918件（同+2.2%）、金額5,687億66百万円（同+3.1%）。一方、3月中の代位弁済は、件数が34件（同+30.8%）、金額が3億52百万円（同+152.8%）。

